「東京交通少年団創立50周年記念大会」の開催

当協会と警視庁交通部は、3月30日(土)両国技館において、「令和6年春の全国交通安全運動 TOKYO SAFETY ACTION with 東京交通少年団～創立50周年記念～」を開催したところ、96の地域交通少年団から団員を含め関係者約3，500名が参加しました。

第1部の式典では、東京交通少年団の島田団長が登壇し、「子供の交通事故を無くし、世界一の交通安全都市TOKYOを実現しましょう」と力強く交通安全宣言を行いました。

第2部のトークショーでは、親子3代にわたり交通少年団活動に携わる家族や5人姉妹のほか、元交通少年団の著名人として小平市長が登壇し、当時の思い出やエピソード等を紹介しました。また、現在、読売巨人軍で活躍する赤星投手からは、交通少年団での思い出と感謝の気持ちや交通ボランティアとして活動するこの日のために作られたセージが寄せられ、これは「PAGS 50！」が披露され、これに中野交通少年団のフラッグ演舞が花を添えました。アトラクションの最後にはリーダー団員を中心にジャンボリミッキーの歌とダンスがステージいっぱいに披露されると、観客席の団員も立ち上がり一緒にダンスに加わるなど、団員が主役の記念大会は大盛況のうちに終了しました。

第2部のトークショーでは、警視庁カラーガードMECと王子交通少年団バトンとのコラボ演舞では、高学年の躍動感のあるバトン演舞と低学年のポンポンを使った可愛らしい演舞に対して会場から大きな拍手が送られました。

さらに、警視庁音楽隊と交通少年団鼓笛隊とのコラボ演奏では、この日のために作られた「PAGS 50！」が披露され、これに中野交通少年団のフラッグ演舞が花を添えました。アトラクションの最後にはリーダー団員を中心にジャンボリミッキーの歌とダンスがステージいっぱいに披露されると、観客席の団員も立ち上がり一緒にダンスに加わるなど、団員が主役の記念大会は大盛況のうちに終了しました。

第1部　式典

第１部の式典最後に島田団長が登壇、力強い「交通安全宣言」を行った

第2部　トークショー＆交通安全教室

前半のトークショーでは、交通安全広報大使(関根勤さん、村山輝星さん)も参加し、東京交通少年団の結成経緯や活動が紹介され、後半の交通安全教室では、会場全体が参加するクイズが行われました

藤井さんご一家（大井交通少年団）

蜷川（にながわ）さん姉妹（綾瀬交通少年団）

元交通少年団　小平市長

元世田谷交通少年団
赤星投手（読売巨人軍）からもビデオメッセージが寄せられた

実演を交えたクイズ形式の交通安全教室

第3部　アトラクション

参加団員は記念大会に向けた練習の成果を披露、会場一体となって大会を盛り上げました

警視庁音楽隊の演奏に合わせ交通少年団の歌とダンスを披露する中を団旗が入場

警視庁音楽隊・カラーガードMECとのコラボ（バトン）

鼓笛・フラッグでもコラボ

会場も一緒にジャンボリミッキーダンスと歌

盛り上がったエンディング

情報ステーション

❶5月の自転車安全利用月間について

当協会では５月の自転車安全利用月間に合わせて、各地域交通安全協会が実施する自転車実技教室の開催や各種自転車事故防止対策に助成金を交付しています。詳しくは、４月10日付の東安協事務連絡を確認してください。

❷第57回交通安全子供自転車東京大会の開催

６月23日(日)八王子市富士森体育館において開催します。

この大会は、子供たちが自転車競技を通じて交通ルールを学び、運転技能を高めることを目的とした大会です。

参加資格
- ●都内の小学校及び交通少年団
- ●１チーム４名
  （１校で複数チームの参加も認めます）
  但し、少人数でチームを編成できない場合は個人参加が可能です。

※詳細は、安全対策課まで問い合わせてください。
03−5990−6875

❸各種オートバイ教室の開催

本年４月15日現在、40歳代、50歳代の二輪車乗用中の交通死亡事故は減少(前年比－５人)していますが、反対に20歳代の若者の交通死亡事故(前年比＋２人)が増加しています。二輪車の交通事故は速度超過に起因した単独事故や交差点での右直事故が多く発生しています。警視庁交通安全教育センターでは、レディース、ビギナー・リターンライダー等、対象者に応じたオートバイ教室を開催しています。

是非、参加してみてください。

警視庁ホームページにアクセスできます☞

令和６年度 交通少年団卒団表彰式

当協会と警視庁交通部は東京交通少年団（BAGS）の卒団表彰式を２月11日(日)警視庁本部庁舎において開催しました。当日は卒団員の門出を祝うかのような晴天に恵まれ、式典には、卒団員(61団97名)が出席しました。

式典では、はじめに警視庁の大窪交通部長から感謝状、東京交通少年団の島田団長からは記念品(写真立)が卒団員一人ひとりに贈呈されました。

表彰終了後には、大窪交通部長から「率先して交通ボランティア活動に参加してくれてありがとう」と感謝の言葉が贈られました。また、島田団長からは「交通少年団で培った仲間との絆、奉仕の精神、他者への感謝の気持ちを忘れず、中学校に進んでからも頑張ってください」と激励を受けました。

卒団は、コロナ禍で多くの活動が延期、中止、縮小されるなど、大幅に活動が制限されましたが、春・秋の全国交通安全運動をはじめ、自治体主催の行事やクリスマス会などを通じて、仲間との友情を深め、優しさと思いやりの心を育んできました。

今春から中学校へ進学しますが、さらに大きく飛躍することを期待しています。

各団の代表団員一人ひとりに交通部長感謝状と記念品が手渡された

大窪交通部長

島田団長

卒団員の代表者が感謝の言葉を述べた

音楽隊の演奏に合わせ、「東京交通少年団創立５０周年記念大会」で披露するジャンボリミッキーダンスを元気よく踊る卒団員

各種会議の開催結果のお知らせ

【副会長・相談役会議】

3月1日(金)グランドアーク半蔵門において、副会長・相談役会議が開催され、3月19日(火)に開催される合同会議、定例理事会の決議事項となる2024年度事業計画(案)、2023年度収支予算(案)についての説明が行われました。

【合同会議・定例理事会】

3月19日(火)グランドアーク半蔵門において合同会議、定例理事会の順で開催され、先の副会長・相談役会議で報告された決議事項について説明及び審議が行われ、議案が採決されました。

それに伴い、本年度は、交通安全スローガン「たくさんの 笑顔が走る 首都東京」のもと、みんなで思いやりの輪を広げ、「世界一の交通安全都市TOKYO」の実現に向け、各関交通安全活動に取組むことになりました。

【交通安全協会長会議】

定例理事会に引続き開催された交通安全協会長会議は、4月6日(土)から始まる「春の全国交通安全運動」に向けた意思統一を目的としています。会議の冒頭、警視庁大窪交通部長から警察活動各般わたる協力に対する謝辞と、春の全国交通安全運動に向けた協力依頼がありました。続いて審議に入り、はじめに、当協会の大浦理事長から、「令和6年、春の全国交通安全運動推進計画」に基づき、歩行者の交通ルールの遵守や、自転車利用時へつった活動の協力依頼が行われました。また、警視庁の尾崎交通総務課長からは、都内の交通情勢と、安全運動期間中における警視庁の取り組みについて説明が行われ、最後に「新入学児童」と「高齢歩行者」に対する保護誘導活動等の協力依頼がありました。

記念大会に向けて～東京交通少年団指導者研修会

指導者研修会が2月23日(金)国立オリンピック記念青少年総合センターおいて開催されました。この研修会は各地域交通少年団の情報交換と指導者のスキルアップを目的として行われ、当日は42団から団長を含む70名が参加しました。

開講式では、東京交通少年団の島田団長が、「成城管内で小学生が犠牲となった交通事故が発生しました」と報告があり、「再び起きないよう力を合わせて頑張りましょう」と呼び掛けました。続いて、警視庁交通部の川嶋管理官から、交通ボランティア活動に対する謝意と今後の協力依頼が行われ、当協会の林安全対策部長からは、3月30日に予定されている「東京交通少年団創立50周年記念大会」についての説明と引率者に対する協力依頼が行われました。

午後からは2班に分かれ、研修室では、東京交通少年団の谷島指導委員が主催する意見交換会が開催され、各団の活動報告が行われたほか、新規に加入した指導員に対して、号令の掛け方や基本動作についての指導が行われました。

また、リハーサル室では、記念大会に参加する鼓笛合唱等の団員が集合し、音楽指導者が見守る中で熱心に個別に練習を繰り返しました。

団員の指導に当たった先生方　左から高島先生、勝崎先生、木俣先生

基本動作訓練を行う指導員

「指導員の手引き」を使って動作の確認

東京交通少年団創立50周年記念大会に向けて、熱心に鼓笛演奏を始め、フラッグや合唱等の練習を行う団員

永年勤続表彰

2月9日(金)グランドアーク半蔵門において、地域交通安全協会事務局員に対する研修会が開催され、それに先立ち永年勤続表彰式が行われました。今回表彰された職は左記のとおりで、当協会の大浦理事長から感謝状と記念品が贈られました。

勤続25年
梶原　京子様（築地）
遠山　栄子様（竹の塚）

勤続5年
鈴木　晃子様（久松）
上野　孝義様（愛宕）
山崎　素弘様（午込）
飯田　喜美江様（池袋）

「永年勤続表彰式」にて
左から鈴木様（久松）、梶原様（築地）、大浦理事長、上野様（愛宕）、飯田様（池袋）